

非常に効果的と評価した取組一覧

業務	評価項目	取組み内容	非常に効果的とした理由
総合相談支援業務	相談支援①	<p>相談シート付きのセンター案内を医療機関に配付し、医療機関が気になる高齢者を把握した際にセンターへの相談に円滑に繋がられるよう連携を図った。(藤山台・岩成台)</p>	<p>医療機関がセンターへの相談や支援が必要と思われる高齢者を把握した際に、予め相談者の基本情報や相談内容を記入して本人等がセンターに持参できる案内チラシを配付した。それにより、関係機関と連携し、センター職員が出向くことなく相談が入りやすい体制を整えるとともに、面談時の聴き取りの効率化を図ることができ、他の業務の量的拡大が見込まれる。</p>
		<p>WEB マップで作成した地域資源マップをセンターのホームページで広く公開するとともに、閲覧が容易となるよう QR コードを活用した。(高蔵寺)</p>	<p>地域資源を掲載したマップを WEB 上で作成して公開し、センター職員がマップの設置依頼に出向くことなく誰でも最新の情報を閲覧して活用できる取組みであり、更新作業を効率的に行うことができるため、他の業務の量的拡大が見込まれる。</p>
		<p>地域共生社会を目指し、地域を見守る機関を「東部中学校区まもり隊」として協力を依頼し、多くの店舗や医療機関等の協力機関にセンターや見守りの仕組みを周知するポスター等の掲示をした。(東部)</p>	<p>利用客等の世代を問わず広く地域の店舗等から見守り協力を得て、周知・啓発のポスターの掲示をし、地域による見守りの仕組みを広く周知して、センター職員が出向くことなく地域関係者や住民から相談が入りやすい体制づくりを図ることができ、他の業務の量的拡大が見込まれる。</p>

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
	その他	LINEWORKS を活用し、職員のスケジュール管理や資料等の共有をしている。(坂下)	スマートフォンアプリを活用したことにより、出先でもリアルタイムで職員の予定管理や必要な資料の確認ができ、予定調整や相談支援等業務の効率化を図ることができ、他の業務の量的拡大が見込まれる。
権利擁護業務	その他	企業が認知症の理解やその対応等を学ぶ ONE アクション研修を圏域内の金融機関が受講して、センターと連携して高齢者の見守りができるよう取り組んだ。(高森台・石尾台)	企業の ONE アクション研修受講を支援し、認知症の理解を深めたことで対応力が向上し、センターとの継続した連携体制を築くことができ、権利擁護業務の資質向上が見込まれる。
		長期の虐待対応ケースのモニタリング時にリスク項目をわかりやすく確認できるチェックシートを作成し、リスクを点数化して虐待の再発防止に努めた。(柏原)	モニタリング時の様子等から再発リスクを点数化する個別のチェックシートを作成したことで、確認事項を明らかにするとともに状況変化の把握及び職員間の共有がしやすくなり、権利擁護業務の資質向上が見込まれる。

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
包括的・継続的ケアマネジメント業務	包括的・継続的なケア体制の構築	圏域内のケアマネジャーや民生委員児童委員、サービス事業所と合同でBCP（事業継続計画）訓練を実施した。（坂下）	多機関合同で実施した研修会を通じ、災害時の対応及び各機関の役割や連携の重要性について一同に共有したことで、ケアマネジャーのBCP業務にかかる負担軽減や関係機関との連携強化を図ることができ、包括的・継続的ケアマネジメントの資質向上が見込まれる。
		ケアマネジャーが地域のサロン等に参加する社会資源体験ツアーを企画した。（味美・知多）	ケアマネジャーがサロン等に参加して活動の様子を把握したことにより、インフォーマルサービスの活用やセンターを介さず直接地域の関係機関との連携を図ることができ、センターの業務負担の軽減及び包括的・継続的ケアマネジメントの資質向上が見込まれる。
	介護支援専門員に対する支援	センターが先行して実施したBCP（事業継続計画）訓練の内容や資料をケアマネジャーに情報提供した。（東部）	センターが行ったBCP訓練の内容等を情報提供し、居宅介護支援事業所が実施する際にも資料等を活用することができ、ケアマネジャーのBCP業務にかかる負担軽減を図るとともに、包括的・継続的ケアマネジメントの資質向上が見込まれる。

業務	評価項目	取り組み内容	非常に効果的とした理由
地域ケア会議開催業務	その他	かすがいねっと連絡帳で地域福祉コーディネーター及び基幹型地域包括支援センターと地域づくりや地域ケア会議等に関する必要な情報を共有した。(柏原)	かすがいねっと連絡帳を確認することで、各地域の支援状況や会議に向けた準備等を関係機関及びセンター職員間において迅速に共有できる取組みであり、業務の効率化を図ることにより、他の業務の量的拡大が見込まれる。
その他	業務量における課題及び解決策をロジックツリーにより職員間で検討し、書類等管理のデジタル化や職員間の業務の均等化等に取り組んだ。(中部)	事務のデジタル化や職員間の業務負担の均衡化、職場環境の改善をしたことで、事務作業等の効率化や負担軽減を図ることができ、他の業務の量的拡大が見込まれる。	